



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 EIZO株式会社  
 コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 學 TEL 076-275-4121  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	16,540	△14.6	751	△60.4	1,042	△58.9	703	△61.4
2018年3月期第1四半期	19,376	15.7	1,897	121.0	2,540	441.8	1,822	513.9

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 4,896百万円 (23.4%) 2018年3月期第1四半期 3,966百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	33.00	-
2018年3月期第1四半期	85.49	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	122,005	95,458	78.2	4,477.29
2018年3月期	119,328	91,521	76.7	4,292.63

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 95,458百万円 2018年3月期 91,521百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	45.00	-	45.00	90.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期 (予想)	-	50.00	-	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	△0.1	8,100	△5.3	8,500	△10.6	6,300	△11.7	295.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	22,731,160株	2018年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,410,536株	2018年3月期	1,410,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	21,320,624株	2018年3月期1Q	21,320,672株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2018年7月31日に当社のウェブサイトに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では雇用環境は緩やかに改善しており、個人消費も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

また、米国では雇用環境は改善し、個人消費が堅調に推移するなど、景気は底堅く推移しました。日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費は持ち直しつつあり、また、企業収益・設備投資にも改善が見られ、景気は回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは「開発創造型企業」として、テクノロジーの可能性を追求し、顧客に新たな価値を認めていただける製品を他社に先駆けて創造、提案し、顧客の満足を得ることを経営の基本方針とし、映像技術を核とした世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い製品を基に、市場や顧客に応じた最適な製品及びシステムソリューションを提案する、「Visual Technology Company」への展開を進めております。

具体的には、2018年度を初年度とする第6次中期経営計画を策定し、「撮影」、「記録」、「配信」、「表示」を包括した「Imaging Chain Innovation」によるトータルソリューションで、ヘルスケア、クリエイティブワーク、V&S (Vertical & Specific) の事業領域の更なる拡大及び新市場を創出してまいります。

ヘルスケア市場では、低解像度の内視鏡カメラで撮影した映像を、高精細に表示する映像鮮鋭化技術を新たに搭載した26型手術室用2D映像表示モニター「CuratOR EX2621」を発売し、クリエイティブワーク市場では、映像制作向けHDRに対応した31.1型カラーマネージメント液晶モニター「ColorEdge CG319X」を発売するなど、各市場での取り組みを強化しております。

2018年3月に買収したカーリーナシステム(株)では、事業活動をさらに強化し、手術室向けに加え、新しい市場に対しても、映像記録・配信・編集・画像解析も含めたハードウェアやソフトウェアの展開を図り、早期に当社とのシナジー効果を創出する取り組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、アミューズメントを除く映像機器は、例年需要が下半期に偏る傾向がある中、B&P、ヘルスケア、クリエイティブワークを中心に海外向けが牽引し堅調に推移しました。一方で、アミューズメントは規則改正の影響に加え、前年同期に人気タイトル機種の販売があったことにより、前年同期を大きく下回った結果、全体の売上高は16,540百万円（前年同期比14.6%減）の減収となりました。

また、売上高の減収により売上総利益が834百万円減少したことに加え、先行的な研究開発を引き続き行ったことやカーリーナシステム(株)に係る費用及びのれん償却費等の要因により、販売費及び一般管理費が前年同期と比較して312百万円増加し、営業利益は751百万円（前年同期比60.4%減）、経常利益は1,042百万円（同58.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は703百万円（同61.4%減）となりました。

市場別の売上は次のとおりであります。

(単位：百万円)

市場	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	3,545	18.3	3,883	23.5	338	9.5
ヘルスケア	6,427	33.2	6,828	41.3	401	6.2
クリエイティブワーク	1,353	7.0	1,395	8.4	42	3.2
V&S (Vertical & Specific)	1,653	8.5	1,597	9.7	△55	△3.4
アミューズメント	5,619	29.0	2,360	14.3	△3,259	△58.0
その他	778	4.0	474	2.8	△303	△39.0
合計	19,376	100.0	16,540	100.0	△2,836	△14.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## [B&amp;P (Business &amp; Plus) ]

売上高は、3,883百万円（前年同期比9.5%増）となりました。欧州において、フレームレスモニターの販売が引き続き好調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。特にドイツ向けが好調に推移しており、B&Pの売上高増加に貢献しております。

## [ヘルスケア]

売上高は、6,828百万円（前年同期比6.2%増）となりました。海外では、欧州、北米及び中東や東南アジアでの販売が伸び、前年同期を上回る売上高となりました。国内では、買収したカーリーナシステム(株)の販売が加わり、売上高は前年同期を上回りました。

## [クリエイティブワーク]

売上高は、1,395百万円（前年同期比3.2%増）となりました。欧州向け等での販売が堅調に推移したことから、前年同期を上回る売上高となりました。

## [V&amp;S (Vertical &amp; Specific) ]

売上高は、1,597百万円（前年同期比3.4%減）となりました。海外では、販売は堅調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。国内では、監視及び船舶向けの販売が堅調に推移したものの、前年同期に金融システム向けモニターの大型案件があったことにより、V&S市場向け全体では前年同期を下回る売上高となりました。

## [アミューズメント]

売上高は、2,360百万円（前年同期比58.0%減）となりました。なお、市場環境は規則改正の影響を受け、先行きの不透明感もあり、さらに厳しさが増しております。また、前年同期に人気タイトル機種のリリースがあったことにより、売上高は前年同期を下回りました。

## [その他]

売上高は、474百万円（前年同期比39.0%減）となりました。主に、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が減少したことによります。

## (2) 財政状態に関する説明

資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は2,676百万円増加し122,005百万円、負債の部は1,260百万円減少し26,546百万円、純資産の部は3,937百万円増加し95,458百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月8日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,394	9,187
受取手形及び売掛金	22,538	16,131
有価証券	12,589	13,800
商品及び製品	10,280	10,852
仕掛品	1,985	2,815
原材料及び貯蔵品	12,511	11,784
その他	868	993
貸倒引当金	△131	△119
流動資産合計	69,036	65,445
固定資産		
有形固定資産	12,171	12,634
無形固定資産		
のれん	3,163	2,979
その他	767	696
無形固定資産合計	3,930	3,676
投資その他の資産		
投資有価証券	33,071	39,167
その他	1,118	1,081
投資その他の資産合計	34,189	40,248
固定資産合計	50,291	56,559
資産合計	119,328	122,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,619	6,075
短期借入金	1,957	1,918
1年内返済予定の長期借入金	26	—
未払法人税等	1,895	117
賞与引当金	1,535	638
製品保証引当金	1,829	1,791
その他	3,794	4,915
流動負債合計	18,659	15,456
固定負債		
長期借入金	29	—
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	820	803
退職給付に係る負債	3,121	3,142
その他	5,074	7,041
固定負債合計	9,147	11,089
負債合計	27,806	26,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	68,280	68,024
自己株式	△2,662	△2,662
株主資本合計	74,357	74,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,506	21,747
為替換算調整勘定	△227	△300
退職給付に係る調整累計額	△115	△90
その他の包括利益累計額合計	17,163	21,356
純資産合計	91,521	95,458
負債純資産合計	119,328	122,005

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)
売上高	19,376	16,540
売上原価	13,077	11,075
売上総利益	6,298	5,464
販売費及び一般管理費	4,401	4,713
営業利益	1,897	751
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	265	327
為替差益	281	—
その他	103	105
営業外収益合計	652	435
営業外費用		
支払利息	0	1
売上割引	9	13
為替差損	—	114
その他	0	13
営業外費用合計	9	143
経常利益	2,540	1,042
税金等調整前四半期純利益	2,540	1,042
法人税、住民税及び事業税	481	155
法人税等調整額	236	183
法人税等合計	717	339
四半期純利益	1,822	703
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,822	703



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,822	703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,737	4,241
為替換算調整勘定	363	△73
退職給付に係る調整額	42	24
その他の包括利益合計	2,144	4,193
四半期包括利益	3,966	4,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,966	4,896
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

## 3. 補足情報

(市場区分について)

区分	主要用途
B&P (Business & Plus) ビジネス用途向け及びゲーム等のエンターテインメント市場向け	金融機関、公共機関、文教施設、一般オフィス ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア 医療環境向け	医用画像、診断用途、手術室用途
クリエイティブワーク グラフィックス用途向け	出版・印刷・写真編集、映像制作
V&S (Vertical & Specific) 様々な環境下での使用が求められる多様な業種・分野向け	航空管制(Air Traffic Control:ATC)、船舶、監視(Security & Surveillance)、その他産業用途
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発